

第30回全国小学生記念大会で準優勝と健闘した女子のコザクラブJrハンドボールクラブ=6日、京都府の田辺中央体育館(提供)



コザクラブJr 女子準V

全国小学生ハンド

ハンドボールの第30回全国小学生記念大会は6日、京都府の田辺中央体育館で男女の決勝までを行った。女子県代表、コザクラブジュニアは準決勝で三郷ハンドボールクラブ(埼玉)を10-5で破り決勝に進出したが、十三ジュニアハンドボールクラブ(富山)に14-22

で敗れ、準優勝だった。

▽準決勝

コザク 10 20
10 5 10
3 5 2 5
3 3 (埼玉)

▽決勝

十三 22 8 4
7 7 6 4
4 4 14 4
コザク
r

初大舞台「百点満点」

○…創立15年のコザクラブジュニアは、県予選で浦添勢以外では初の県代表を勝ち取り、初の全国大会で準優勝の好成績を残した。後に続く道を切り開いた選手らに神里剛人監督は「百点満点。たくさん褒めてあげたい」とねぎらった。

ハイライト

準決勝の三郷(埼玉)では、作戦通り相手エースの攻撃を封じて速攻へつなげるなど、全員で得点を奪って快勝した。しかし、決勝の十三ジュニア(富山)は「力と技術の差を痛感させられた」(神里監督)。

全員で得点奪う

左サイドの平良月をきっかけに相手守備を崩そうとしたが阻まれ、守備ではスピードでほんろうされた。それでも、比嘉聖主将は「最初で最後の全国大会決勝。力を出し切ろう」と粘った。競技歴3カ月のボスト宮城愛澄やGK喜屋武香音の活躍も光った。

卒業すれば別々の中学に進学するメンバーたち。だからこそ、比嘉は「優勝できなかったのは悔しいけれど、めっちゃ楽しかった」と振り返る。10月には九州大会県予選も控える。比嘉は「全国で感じた課題を修正する」と語り、まだまだ快進撃を続けるつもりだ。